

わかりやすい

志摩市予算説明書

Q 「予算」って？

A 予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）の収入と支出の見積りです。

皆さんが納めている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国や地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業内容などを計画します。この見積もりが「予算」です。志摩市の予算は、皆さんが納めた税金がどのように使われるかを示しています。



Q 「予算」はどうやって決めているの？

A 市長が予算案を作り、市議会の審議と議決（議会の意志決定）によって決まります。

市役所の各部署は、市民の皆さんの意見や要望を聞き、地域の状況などを見ながら、「どんな行政サービスを行うべきか」を検討します。市長は、その各部署の案をもとに、市の政策に沿って予算案をまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会では、提出された予算案を事業内容や実施体制などさまざまな面から審議をしたうえで、議決をします。



Q 一度決めた予算は変わることはないの？

A 市議会で決定した予算から事業を実施するうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起きることがあります。例えば、台風や地震などの自然災害などにより、緊急にお金を使わなくてはならない場合には、予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案を作り、最初の予算と同じように市議会へ提出します。この予算のことを「補正予算」といいます。



Q 平成26年度の志摩市の予算編成の基本的な考えは？

A 「住んでよし、訪れてよしの志摩市」を基本理念として、地域が抱えるさまざまな行政課題や問題点に対応するために、総合計画に基づいて、次の6つの将来像を基本目標として各施策を推進します。

- ①環境の志・・・自然とともに生きる
- ②生活・安全の志・・・安全を保ち、快適に暮らす
- ③地域経済の志・・・まちを潤す
- ④健康・福祉の志・・・人と命を大切にする
- ⑤教育・文化の志・・・人を育て、ふるさとを誇る
- ⑥まちづくりの志・・・未来を拓く

また、重点施策として、市民の皆さんの安全を最優先に防災対策に取り組むために津波避難対策をはじめとする防災対策事業と、総合計画後期基本計画で、「稼げる（産業里海）」、「学べる（教育里海）」、「遊べる（観光里海）」をキーワードとした里海推進事業を推進します。

志摩市は、平成の大合併により誕生し、平成26年10月1日に誕生10周年を迎えます。この10年という節目を迎えるにあたり、将来に向かって夢と希望に満ちたさらなる飛躍につながるような10周年記念事業を実施します。



Q 市民1人当たりいくら使われているの？



A 平成26年度予算(約245億8千万円)を市民1人当たりに換算すると約45万円(平成26年2月28日現在の人口54,829人)となります。各分野ごとにどのくらい使われているのかは、次のとおりです。

約45万円の内訳

一般会計歳出予算(目的別)

議会費
4,179円



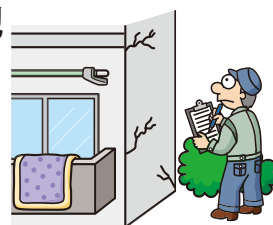
市議会運営に使われます。

商工費
7,817円



商工業の振興や観光PRなどに使われます。

その他
584円



災害時の応急処置などに使われます。

総務費
45,386円



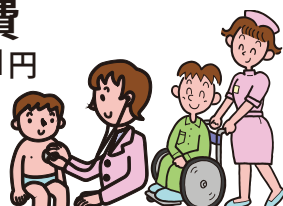
市の事務事業を推進していくために使われます。

土木費
21,264円



道路・公園の整備や維持管理などに使われます。

民生費
159,691円



子どもやお年寄り、障がい者のための費用などに使われます。

消防費
35,767円



防災、消防活動などに使われます。

衛生費
53,328円



ごみの収集・処理や健康診断・予防接種などに使われます。

教育費
42,099円



幼稚園、小・中学校などの教育や文化、スポーツ振興などに使われます。

農林水産業費
6,834円



農林水産業の振興などに使われます。

公債費
71,377円



市が借りましたお金の返済に使われます。

一般会計歳出予算(性質別)

項目	金額(円)
義務的経費	218,220
人件費	84,853
扶助費	61,990
公債費	71,377
投資的経費	29,879
普通建設事業費	29,842
災害復旧事業費	37
その他の経費	200,227
物件費	57,744
維持補修費	3,223
補助費等	88,273
積立金	4,485
繰出金	45,955
予備費	547
計	448,326

一般会計歳入予算

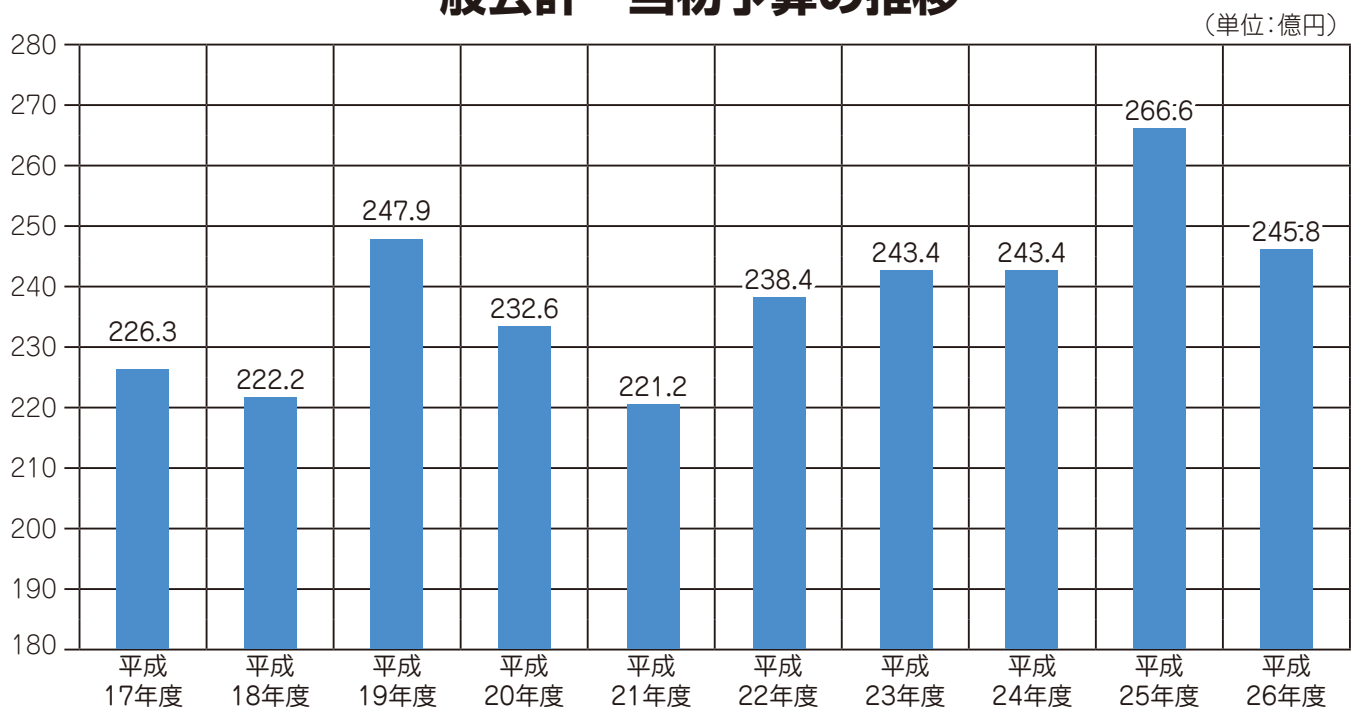
項目	金額(円)
市税	100,415

市に納めた税金約10万円に、国・県の補助金などを加えた金額を財源として、市民1人当たり約45万円の事業が行われます。

平成26年度 当初予算総額

会計区分		平成26年度	平成25年度	増減	伸び率
		千円	千円	千円	%
一般会計		24,581,290	26,661,159	△ 2,079,869	△ 7.8
特別会計	国民健康保険特別会計	7,798,835	7,444,106	354,729	4.8
	後期高齢者医療特別会計	1,247,671	1,158,013	89,658	7.7
	介護保険特別会計	6,034,108	5,722,411	311,697	5.4
	下水道事業特別会計	542,142	475,517	66,625	14.0
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	8,199	7,228	971	13.4
	小計	15,630,955	14,807,275	823,680	5.6
企業会計	水道事業会計	2,584,760	2,708,482	△ 123,722	△ 4.6
	収益の支出	1,780,546	1,647,401	133,145	8.1
	資本の支出	804,214	1,061,081	△ 256,867	△ 24.2
	国民健康保険病院事業会計	1,810,668	1,695,388	115,280	6.8
	収益の支出	1,536,869	1,570,799	△ 33,930	△ 2.2
	資本の支出	273,799	124,589	149,210	119.8
	小計	4,395,428	4,403,870	△ 8,442	△ 0.2
志摩市全体予算総額		44,607,673	45,872,304	△ 1,264,631	△ 2.8

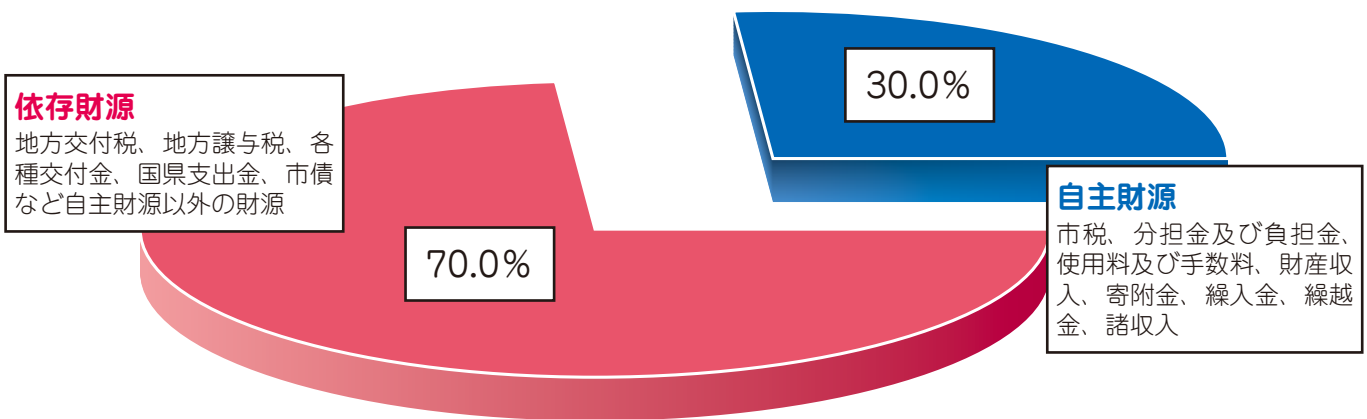
一般会計 当初予算の推移



一般会計予算歳入一覧

款 別	平成26年度当初 (A)	平成25年度当初 (B)	増 減 (A)－(B)	比 較 (A)／(B)	(A)の 構成比
	千円	千円	千円	%	%
市税	5,505,669	5,417,124	88,545	101.6	22.4
地方譲与税	176,001	182,801	△ 6,800	96.3	0.7
利子割交付金	14,400	17,800	△ 3,400	80.9	0.1
配当割交付金	25,200	11,300	13,900	223.0	0.1
株式等譲渡所得割交付金	3,200	2,300	900	139.1	0.0
地方消費税交付金	555,600	519,000	36,600	107.1	2.3
ゴルフ場利用税交付金	62,900	64,300	△ 1,400	97.8	0.3
自動車取得税交付金	30,901	57,201	△ 26,300	54.0	0.1
地方特例交付金	17,400	20,000	△ 2,600	87.0	0.1
地方交付税	9,700,000	9,100,000	600,000	106.6	39.5
交通安全対策特別交付金	4,000	4,000	0	100.0	0.0
分担金及び負担金	205,311	209,144	△ 3,833	98.2	0.8
使用料及び手数料	350,236	378,796	△ 28,560	92.5	1.4
国庫支出金	2,307,723	1,965,894	341,829	117.4	9.4
県支出金	1,184,939	1,359,222	△ 174,283	87.2	4.8
財産収入	26,762	26,635	127	100.5	0.1
寄附金	2,104	2,104	0	100.0	0.0
繰入金	353,781	22,395	331,386	1579.7	1.4
繰越金	400,000	400,000	0	100.0	1.6
諸収入	551,363	564,343	△ 12,980	97.7	2.3
市債	3,103,800	6,336,800	△ 3,233,000	49.0	12.6
歳 入 合 計	24,581,290	26,661,159	△ 2,079,869	92.2	100.0

自主財源と依存財源の比率



用語解説

市税 市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・入湯税などの市が徴収できる税金で、歳入の20%余りを占める重要な財源です

地方譲与税等各種交付金 国の目的税などを財源として、地方自治体へ交付されるお金です

地方交付税 地方自治体の財政力に応じて、国から配分されるお金で自治体間の財政格差を縮め、全国どこでも必要最低限の行政サービスが提供できるようにすることを目的とします

分担金及び負担金 保育料や工事分担金などがこれにあたります

使用料及び手数料 市の公共施設使用料や市営住宅使用料などが使用料、住民票交付手数料や一般廃棄物処理手数料などが手数料にあたります

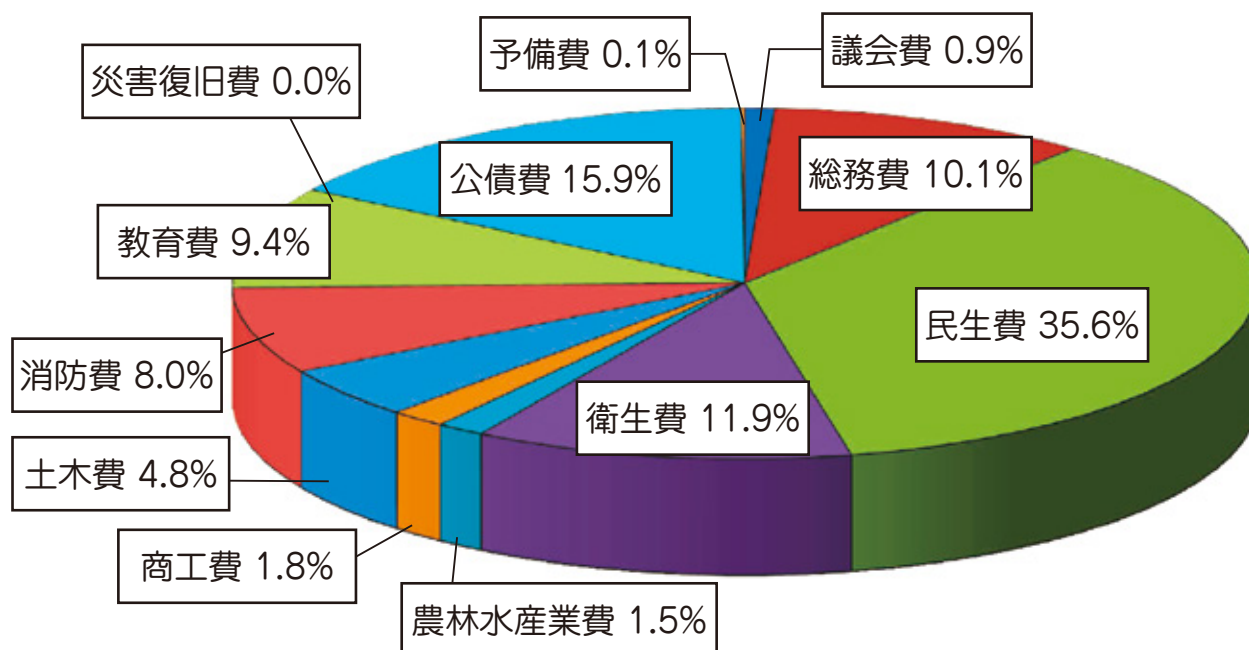
国庫支出金・県支出金 市が行う事業に対し、国や県が出す補助金・負担金・委託金で、使い道はあらかじめ決められています

繰入金 各種の基金（預金）から一般会計へ繰り入れるお金で預貯金を下ろすようなものです

市債 市の借金で一時的に大きな支出があるときや、将来にわたって市民にも負担していただくのがふさわしい事業などのために、決められた手続きで借入のお金です

一般会計予算歳出一覧(目的別)

款 別	平成26年度当初 (A)	平成25年度当初 (B)	増 減 (A)－(B)	比 較 (A)／(B)	(A)の 構成比
	千円	千円	千円	%	%
議会費	229,137	237,734	△ 8,597	96.4	0.9
総務費	2,488,459	2,516,009	△ 27,550	98.9	10.1
民生費	8,755,702	8,568,593	187,109	102.2	35.6
衛生費	2,923,946	6,455,499	△ 3,531,553	45.3	11.9
農林水産業費	374,691	365,016	9,675	102.7	1.5
商工費	428,630	438,859	△ 10,229	97.7	1.8
土木費	1,165,880	1,106,401	59,479	105.4	4.8
消防費	1,961,047	1,377,960	583,087	142.3	8.0
教育費	2,308,239	2,157,196	151,043	107.0	9.4
災害復旧費	2,052	2,052	0	100.0	0.0
公債費	3,913,507	3,405,840	507,667	114.9	15.9
予備費	30,000	30,000	0	100.0	0.1
歳 出 合 計	24,581,290	26,661,159	△ 2,079,869	92.2	100.0

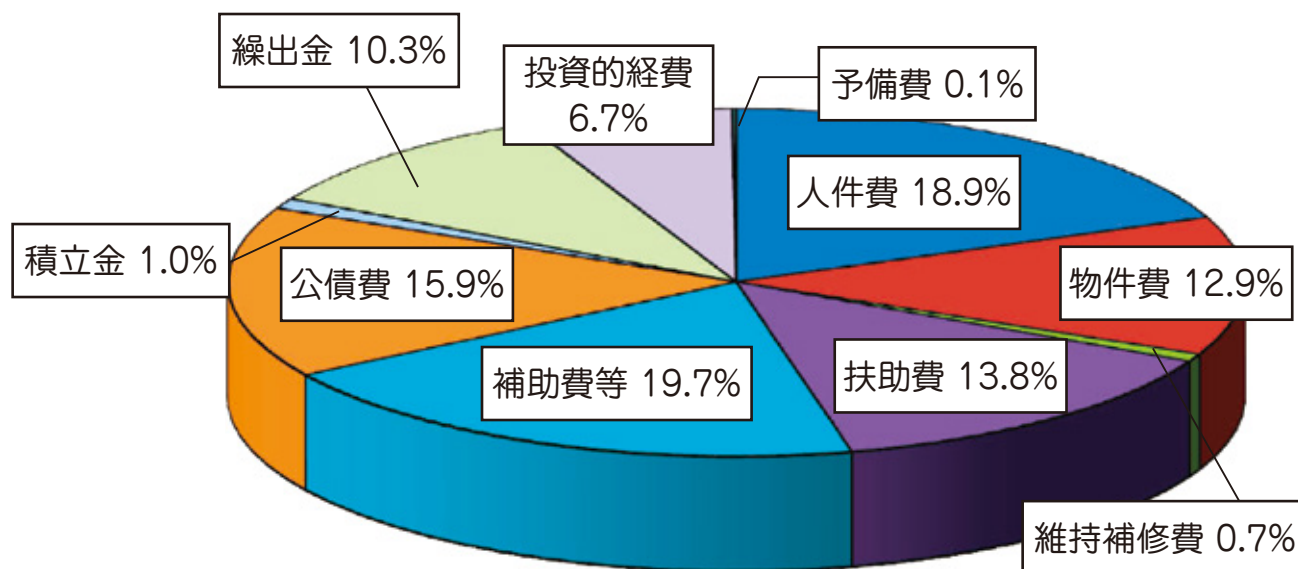


用語解説

- 議会費** 議会の運営などに使われます
- 総務費** 一般的な管理事務や企画調整事務、財政・財産管理、徴税、選挙など行政運営に使われます
- 民生費** 高齢者・障がい者・児童の福祉などに使われます
- 衛生費** 健康で衛生的な生活環境を守るために、保健・医療・環境保全などに使われます
- 農林水産業費** 農林水産業の振興を図るための支援や生活基盤整備などに使われます
- 商工費** 中小企業の振興を図るための支援や観光振興に使われます
- 土木費** 道路・公園の整備、市営住宅などの改良や維持管理に使われます
- 消防費** 消防、救急、防災などに使われます
- 教育費** 小中学校や幼稚園など教育施設の整備や運営、社会教育などに使われます
- 災害復旧費** 災害によって生じた被害の緊急な復旧に使われます
- 公債費** 市の借金の返済に充てられます
- 予備費** 不測の事態による予算不足に充てる予備的なお金です

一般会計予算歳出一覧(性質別)

区 分		平成26年度当初 (A)	平成25年度当初 (B)	増減 (A)－(B)	比較 (A)／(B)	(A)の 構成比
人件費		千円 4,652,418	千円 4,835,944	千円 △ 183,526	% 96.2	% 18.9
内 訳	報酬	202,271	210,820	△ 8,549	95.9	4.4
	給料	2,213,204	2,283,318	△ 70,114	96.9	47.6
	職員手当等	1,014,584	1,046,993	△ 32,409	96.9	21.8
	共済費	800,353	857,087	△ 56,734	93.4	17.2
	災害補償費等	20,300	21,851	△ 1,551	92.9	0.4
	退職手当負担金	401,706	415,875	△ 14,169	96.6	8.6
物件費		3,166,055	3,230,041	△ 63,986	98.0	12.9
維持補修費		176,700	148,464	28,236	119.0	0.7
扶助費		3,398,888	3,352,626	46,262	101.4	13.8
補助費等		4,839,932	6,132,095	△ 1,292,163	78.9	19.7
公債費		3,913,497	3,405,830	507,667	114.9	15.9
積立金		245,914	245,739	175	100.1	1.0
投資及び出資金・貸付金		0	2,000	△ 2,000	0.0	0.0
繰出金		2,519,668	2,402,360	117,308	104.9	10.3
投資的経費		1,638,218	2,876,060	△ 1,237,842	57.0	6.7
予備費		30,000	30,000	0	100.0	0.1
歳 出 合 計		24,581,290	26,661,159	△ 2,079,869	92.2	100.0



用語解説

人件費 職員の給与や議員の報酬などの経費です

物件費 賃金や旅費、需用費などの消費的性質の経費です

扶助費 高齢者や児童などへの福祉サービスにかかる経費です

補助費等 補助金や負担金、火災・自動車損害保険料などの経費です

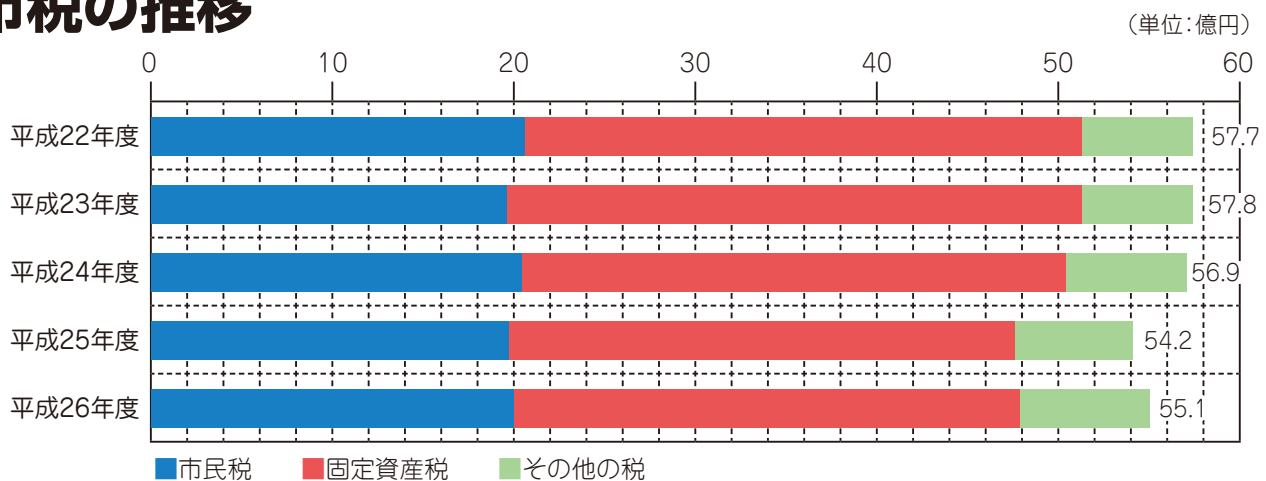
投資的経費 施設建設費や土地の購入費など経費支出の効果が、市の資産として将来的に残るものに支出する経費です

繰出金 一般会計から特別会計などへ支出される経費です

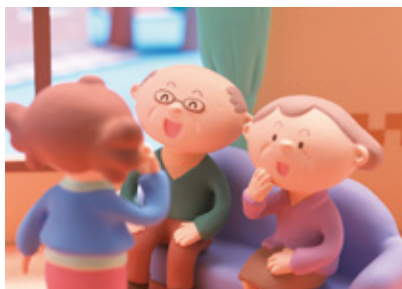
市税の状況

税 目	平成26年度当初 (A)	平成25年度当初 (B)	増 減 (A)－(B)	(A)の 構成比
	千円	千円	千円	%
個人市民税	1,740,716	1,707,815	32,901	31.6
法人市民税	247,395	245,931	1,464	4.5
固定資産税	2,805,222	2,792,700	12,522	51.0
国有資産等所在市町村交付金	921	927	△ 6	0.0
軽自動車税	143,503	141,990	1,513	2.6
市たばこ税	424,641	403,202	21,439	7.7
特別土地保有税	1	1	0	0.0
入湯税	143,270	124,558	18,712	2.6
合 計	5,505,669	5,417,124	88,545	100.0

市税の推移



※年次推移について、平成24年までは決算、平成25年度は現計予算、平成26年度は当初予算値を用いています。
 ※平成24年度は、固定資産税の評価替えの年にあたります。



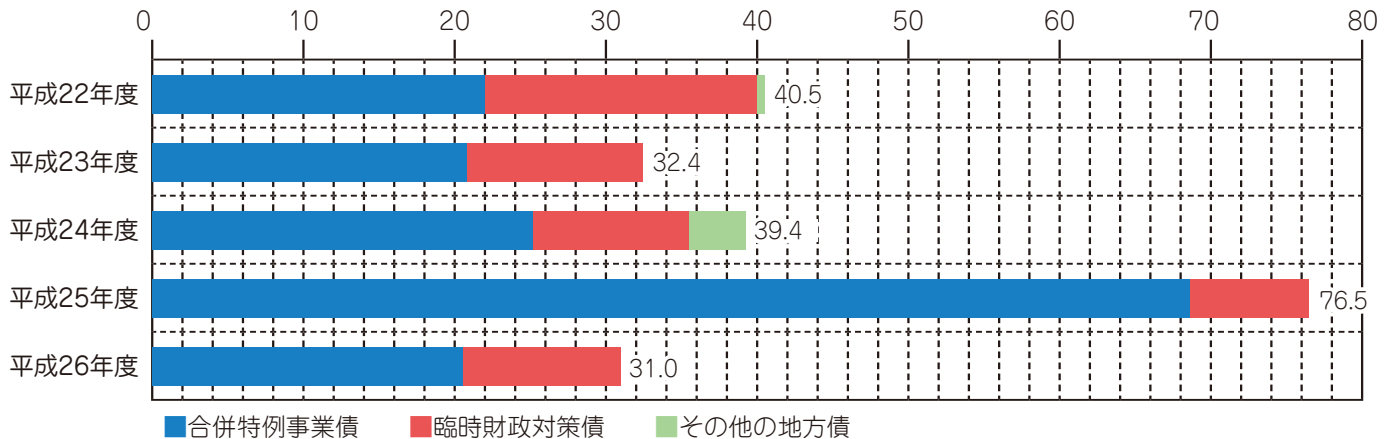
地方債の状況

地方債の借入額推移(一般会計)

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
地方債借入額	4,052,400	3,241,700	3,943,400	7,646,500	3,103,800
合併特例事業債	2,341,000	2,083,200	2,530,300	6,866,500	2,053,800
臨時財政対策債	1,707,100	1,158,500	820,000	780,000	1,050,000
その他の地方債	4,300	0	593,100	0	0

(単位:億円)



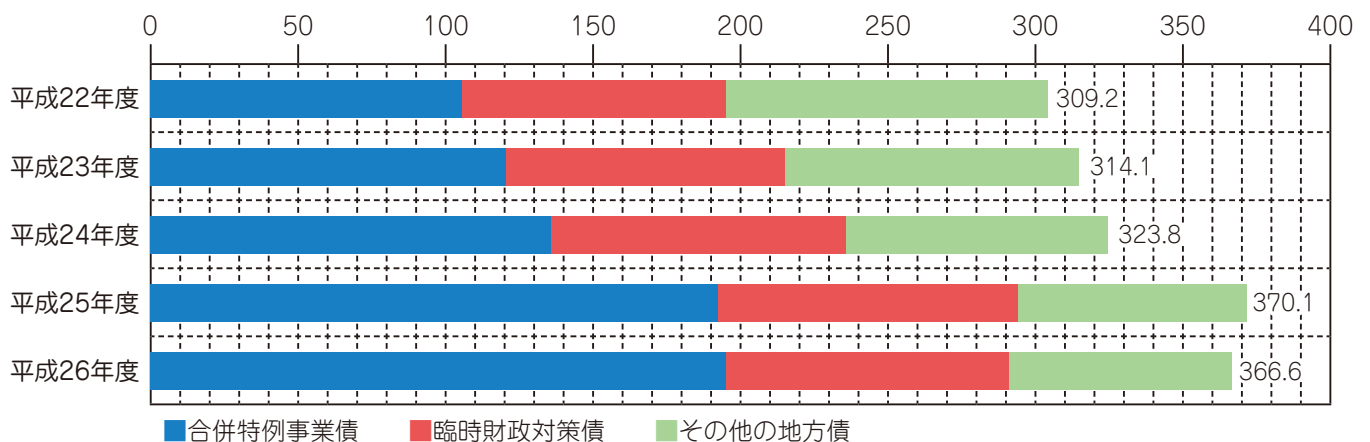
※合併特例事業債について、志摩市の借入限度額 32,489,500 千円のうち、平成 26 年度までの累計発行額(見込)は 24,842,400 千円となります。

地方債の年度末残高推移(一般会計)

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
地方債年度末残高	30,917,558	31,406,194	32,379,092	37,011,498	36,657,073
合併特例事業債	10,645,362	12,128,011	13,718,160	19,359,724	19,597,456
臨時財政対策債	8,894,643	9,580,191	9,888,430	10,105,234	10,612,947
その他の地方債	11,377,553	9,697,992	8,772,502	7,546,540	6,446,670

(単位:億円)



※元利償還金について、合併特例事業債については 70%、臨時財政対策債については 100%が、普通交付税の算定における基準財政需要額に算入されます。

※年次推移について、平成 24 年までは決算、平成 25 年度は現計予算、平成 26 年度は当初予算数値を用いています。

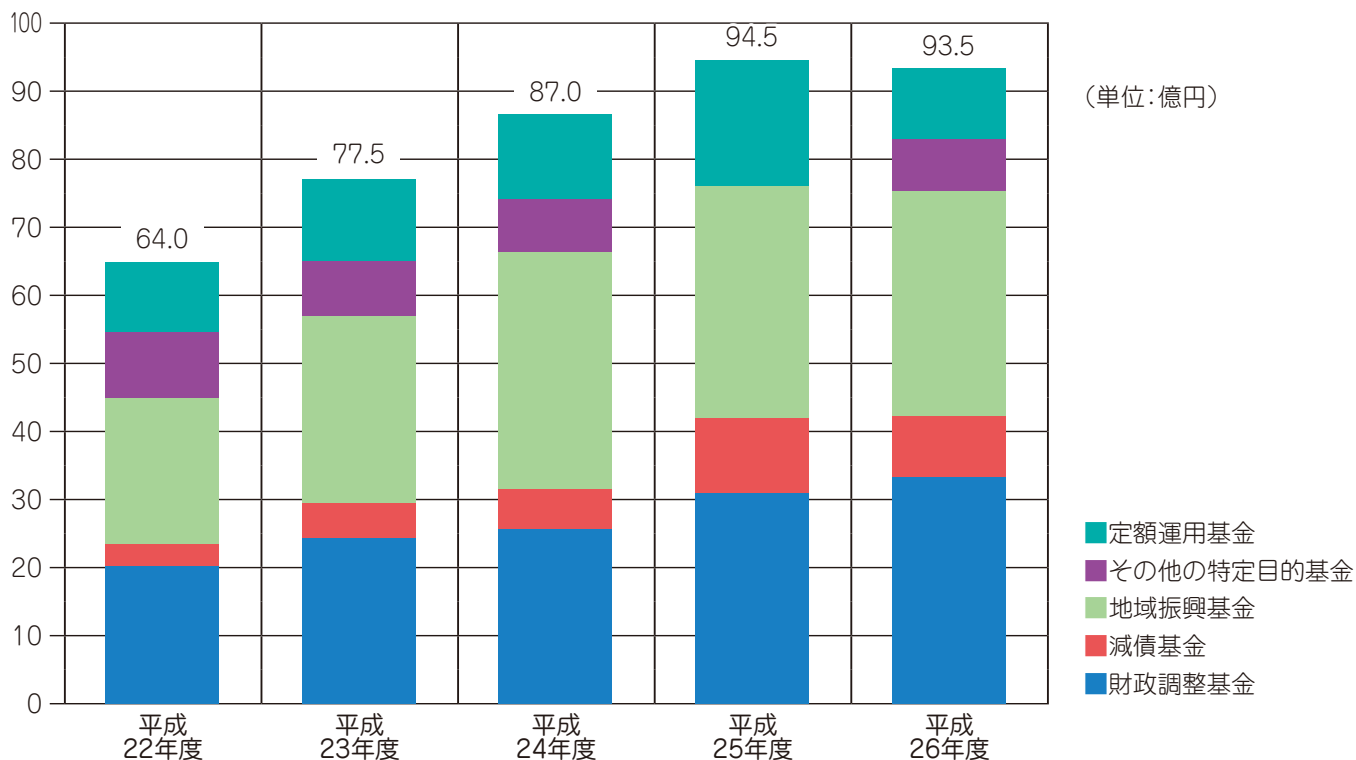
基金の状況

基金の年度末残高推移(一般会計)

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
積立基金	5,504,418	6,719,721	7,663,484	8,419,113	8,313,518
財政調整基金	1,994,645	2,631,823	2,632,606	3,094,373	3,332,373
減債基金	292,969	539,624	883,425	1,202,429	899,929
地域振興基金	2,217,184	2,732,431	3,324,302	3,324,302	3,305,206
その他の特定目的基金	999,620	815,843	823,151	798,009	776,010
定額運用基金	899,992	1,034,992	1,034,992	1,034,992	1,034,992
土地開発基金	892,592	892,592	892,592	892,592	892,592
その他の定額運用基金	7,400	142,400	142,400	142,400	142,400
合 計	6,404,410	7,754,713	8,698,476	9,454,105	9,348,510

※平成23年度のその他の定額運用基金の増加については、奨学基金が積立基金から定額運用基金へ移行したことによるものです。



※地域振興基金は、合併後の市町村が地域住民の連帯の強化又は地域振興等のために設ける基金です。財源として合併特例事業債を活用し、基金の積み立てを行いました。

※年次推移について、平成24年までは決算、平成25年度は現計予算、平成26年度は当初予算数値を用いています。

用語解説

財政調整基金 地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金で、経済事情の変動などで財源が不足する場合や、大規模な建設事業、災害などの財源として活用します

減債基金 地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的の基金です

地域振興基金 合併後の市町村が地域住民の連帯の強化または地域振興などのための基金で、財源として合併特例事業債を活用し、基金の積み立てを行います

定額運用基金 特定の目的のために定額の資金を運用するもので、土地開発基金や奨学基金などがこれにあたります

志摩市誕生10周年記念事業

★キャッチフレーズ

『未来を創る いのち輝く 志摩の海』

★シンボルマーク



志摩市は、平成の大合併により誕生し、平成26年10月1日に誕生10周年を迎えます。この10年という節目を迎えるにあたり、将来に向かって夢と希望に満ちたさらなる飛躍につながるような10周年記念事業を実施することで、絆で結ばれたひとつの志摩市を市内外に強くアピールします。

事業数としては12事業、事業費総額としては約2,000万円を予算計上しました。

(単位:千円)

	事業名	事業概要	事業費
1	市勢要覧作成事業	志摩市の魅力や「新しい里海のまち・志摩」の取り組みを幅広くPRし、志摩市への認識とイメージアップを図るため、平成23年度に策定した里海創生基本計画等、現在の市勢に合った要覧を作成し、市内外に志摩市を紹介する資料とします。	2,987
2	10周年記念式典事業	志摩市誕生10周年を象徴する事業として、10月5日(日)に10周年記念式典を開催し、功労者表彰式や10周年記念事業で募集した市のキャッチフレーズ・シンボルマーク採用者への表彰などを実施します。 また、志摩市名誉市民である羽根直樹棋士と市民が交流できる事業を実施します。	1,182
3	東北復興応援事業	市内で実施するイベントに合わせて、志摩市と関係が深い「気仙沼市」「東松島市」の物産展を開催するなど、東日本大震災の被災地および被災者などへの支援につながる復興応援事業を実施します。	610
4	10周年記念フェスティバル事業	未来へ向けた創造性あふれる場をつくり、志摩の未来のまちづくりを担う人材を育てる事業として、志摩未来塾の開校や映画コミュニケーション講座の開催、ショートムービーの製作、未来志摩配達便などの事業を実施します。	4,354
5	公開番組推進事業	地域内交流と趣味や憩いの空間づくりを目的としたNHKの共催事業と志摩市誕生10周年記念と併せ、NHK公開番組放送を実施します。	1,151
6	友好都市提携事業	志摩市誕生10周年、日進市市制施行20周年を迎えるタイミングで、友好都市提携協定締結に係る調印式を行い、交流を通じて両市の活性化と発展をめざします。	743
7	人権を考える市民の集い事業	例年実施している「人権を考える市民の集い」事業で、徳島県の阿波木偶箱廻しを招き、国の重要無形民俗文化財である安乗の人形芝居に徳島とゆかりの傾城阿波の鳴門「巡禮歌の段」を演じてもらいます。	80
8	海ほおずき体験事業	志摩市誕生10周年、磯体験施設開業10周年を記念して、「伊勢えびガブリングフェスタ2014」を浜島旅館組合などの各団体と共同で開催し、伊勢えび100人バーベキューや伊勢えび汁の振る舞いなどを行います。	150
9	芸術文化振興事業	市民が優れた芸術、文化に触れる機会として、志摩市出身の指揮者兼ピアニストを迎え、オペラティックコンサートなどを開催します。	1,113
10	文化交流事業	志摩市と郡上市の友好都市提携により、安乗人形芝居保存会と高雄歌舞伎保存会が伝統文化の交流を行い、伝統文化の保存・継承を行っています。本年度は志摩市において、「安乗の人形芝居」「高雄歌舞伎」の合同公演を実施します。	414
11	資料集発行事業	志摩の歴史を学ぶための資料として、旧石器時代から現在までの「志摩のあゆみ」をイラストを交えたダイジェスト版にまとめて発刊します。	439
12	志摩市誕生10周年記念事業補助金	民間が実施する記念事業で、10周年記念事業の趣旨に沿った事業を実施する団体に対し補助します。 ①演劇事業補助金 ②志摩ロードパーティ事業補助金 ③志摩市社会福祉大会事業補助金 ④志摩の夏まつり事業補助金 ⑤ハワイアンフェスティバル事業補助金 ⑥スポ・レク交流会事業補助金 ⑦寄せ植えコンテスト事業補助金 ⑧青少年育成事業補助金 ⑨志摩大花火大会事業補助金	7,076
	計		20,299

環境の志 ～自然とともに生きる～

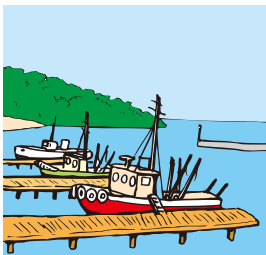
身近な自然や地球環境への負荷の低減を図り、自然のなかで調和の取れた暮らしが将来にわたって続けられるまちをめざします。

(新規)

環境基本計画策定事業

538万2千円

私たちを取り巻く環境の変化や地球温暖化問題などさまざまな環境問題に対応するため、環境負荷が少なく、持続的発展が可能な社会、「新しい里海のまち」を実現するための環境施策を総合的に展開していく計画を平成26年度から27年度の2か年で策定します。



(新規)

事業系生ごみ減量化対策事業

900万円

事業所から排出される生ごみの減量化を推進するため、事業用生ごみ処理機の購入費用の一部（購入金額の2分の1以下の額とし、300万円を限度）を助成し、ごみの減量化を図ります。

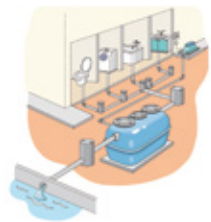


(継続)

浄化槽設置整備事業

1億593万円

下水道および下水道類似施設の処理区域以外の区域で、居住を目的とした住宅などに合併処理浄化槽を（10人槽以下）を設置する人を対象に補助金を交付します。また、合併処理浄化槽に転換する人に対して、単独処理浄化槽を撤去する場合、その撤去する費用と配管費用を、汲み取り便槽を廃止する場合は配管費用を補助します。



(継続)

生ごみ減量化対策事業

200万円

生ごみの減量化を推進するため、電気式家庭用生ごみ処理機の購入費用の一部（購入金額の3分の2以下の額とし、4万円を限度）を助成し、ごみの減量化を図ります。



(継続)

収集運搬車等購入事業

4,583万2千円

やまだエコセンターの事業開始に伴い、市が行うごみ収集運搬および処理を円滑に行うため、塵芥車、資源収集車などの事業車両を購入します。



生活・安全の志 ～安全を保ち、快適に暮らす～

自然災害に強く、日常生活における安全・安心な暮らしが確保されるまち、また、交通環境や居住環境が整った、便利で快適に生活できるまちをめざします。

(新規)

道路ストック総点検事業

1,000万円

老朽化した道路施設の適切な管理を行うため、計画的、効率的な修繕実施に必要な基礎資料を作成し、道路利用者の安全かつ円滑な交通確保を図ります。



(新規)

大規模建築物耐震補強補助事業

2,300万円

耐震改修促進法の一部改正により、不特定多数の人が利用する大規模建築物などについては、平成27年度末までに耐震診断結果の報告が義務となったため、対象となる建築物に対して、国・県の補助制度と合わせて耐震改修費の一部を補助します。



(新規)

駅前広場施設改修事業

160万円

近鉄鵜方駅前ロータリーの傷んだ舗装の修繕およびバスの運行に駐停車車両が支障をきたしていることから、駅前ロータリーの駐停車禁止対策を行います。

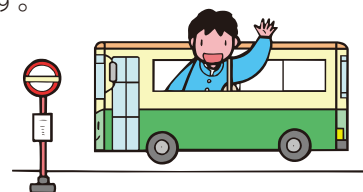


(継続)

交通政策費

4,049万3千円

住民生活に不可欠なバス路線や航路の確保など、地域の実情に合った輸送サービスの実現のため、地域公共交通会議の運営と運行（航）事業者に対し委託や補助を行います。



(継続)

防災訓練事業

179万5千円

市民の防災意識の高揚と防災力（自助・共助）の向上を図るとともに、市職員の防災力（公助）の向上を図ります。平成26年度は、本市で県と市の合同総合防災訓練を実施し、自助・共助・公助の実践的な連携を図ります。

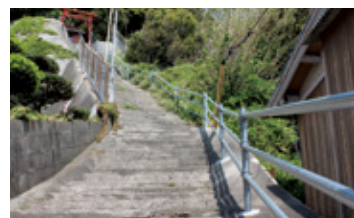


(継続)

地震・津波避難対策整備事業

510万6千円

津波浸水区域から、500m以内の距離にある津波避難路の安全性および避難体制を確保するため、安全柵の設置や耐震シェルター設置者に対する補助などを行います。



地域経済の志～まちを潤す～

農林水産業や観光業の活性化を促進するとともに、産業間の連携を図り、各地域の資源や風土を生かした地域産業によって、活力が維持されるまちをめざします。

(新規)

観光おもてなし隊育成事業

1,093万2千円

観光で志摩市を訪れる人へのおもてなしの意識を含めた人材の育成を行うとともに、観光業務に必要なスキルを取得し、観光発展に推進していく人材の育成を行います。

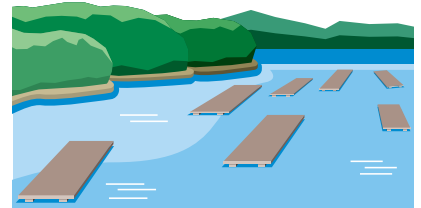


(新規)

観光振興計画策定事業

297万6千円

国立公園の自然の「美」、御食つ国としての「食」など市の特性を生かした魅力の創出をはじめ、観光資源の見直しや観光客の増加を図るなど、更なる観光振興の向上を図るための指針となる計画を策定します。

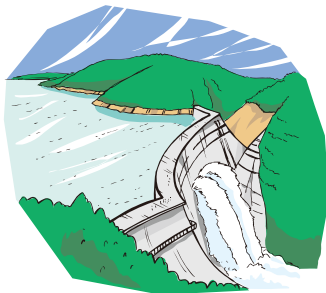


(新規)

里山関連整備事業

589万3千円

水源地ダムへの円滑な水の供給を図るため、間伐材の撤去など神路ダム水源林区域の保全を行います。



(新規)

住宅リフォーム促進事業

200万円

地域経済の活性化を図り、市内関連産業の促進と雇用の安定化を図るため、市内業者が施工する住宅リフォームに対して費用の一部を助成します。



(継続)

種苗放流事業

1,749万5千円

三重外湾漁協および鳥羽磯部漁協などが行うマダイ、クルマエビ、アワビ、トラフグ、ナマコなどの種苗放流事業に対して補助を行い、資源の増大、安定した漁獲量の確保と資源管理意識の向上を図ります。また、アワビ、ナマコについては重点魚種として放流実績のある地区を対象に種苗の無償配布を行うことにより、漁獲量の向上支援を行います。



(継続)

スポーツコミッション推進事業

1,724万5千円

スポーツを通じたまちづくりに役立つための活動や提言などを官民が参画して設立したスポーツコミッションに委託するとともに、団体の組織強化のために育成補助を行います。



健康・福祉の志～人と命を大切にする～

子どもから高齢者まで、生涯にわたって心身ともに健康で生きがいを持てるまち、また、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、一人ひとりの人権が尊重され、だれもが社会の一員として等しく参画できるまちをめざします。

(新規)

生活困窮者自立支援事業

2,000万円

生活困窮者に対する相談支援機能の充実を図り、生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を支援します。



(新規)

臨時福祉給付金事業

2億7,442万1千円

消費税が8%に引き上げられることに伴い、所得の低い人ほど生活に対する負担の影響が大きいことから、所得の低い人に対して、臨時的に給付金を支給します。



(新規)

子育て世帯臨時特例給付金事業

5,255万3千円

消費税が8%に引き上げられることに伴い、子育て世帯への生活に対する影響を緩和するため、子育て世帯に対して、臨時的に給付金を支給します。



(新規)

神明児童館移転整備事業

709万2千円

現在の神明児童館が、津波浸水想定区域内に立地しているため、平成26年3月で廃止する神明幼稚園を改修し、当施設に神明児童館を移転します。



(新規)

大王放課後児童クラブ移転整備事業

462万6千円

平成26年3月で廃止する波切幼稚園および波切保育所を改修し、当施設に大王放課後児童クラブを移転します。



(継続)

二十歳の健診事業

156万1千円

次代を担う若い世代に対する健康づくりに取り組むことにより、若者の健康意識を高め、若者が元気で活気あるまちづくりをめざします。



教育・文化の志 ～人を育て、ふるさとを誇る～

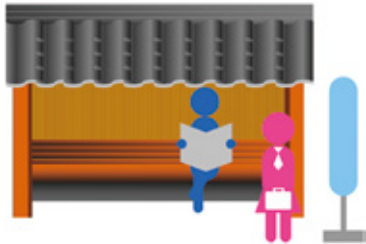
生涯にわたって自ら学び、文化的な活動や伝統文化の継承、地域間交流や国際交流など、さまざまな交流体験を通じて次代を担う人材が育成されるまちをめざします。

(継続)

通学安全改善事業

250万7千円

学校再編により4月から開校する志摩中学校の生徒が、通学手段として利用する路線バスの待合場所を整備します。



(継続)

通学安全対策助成事業

922万円

児童、生徒の通学時の安全を確保するため、自転車通学用ヘルメット購入経費および遠距離通学者の通学費の一部に対して補助金を交付します。



(継続)

介助員等配置事業

1億2,142万5千円

要支援対象児童・生徒・幼児を支援するために生活面でのサポートを行う介助員と、学習面でのサポートを行う学習支援教員を配置します。



(継続)

就学援助経費

5,246万6千円

就学困難な児童および生徒に係る就学援助についての国の法律などに基づき行う就学援助および就学奨励に係る経費(給食費、学用品、校外活動費など)を助成します。



(継続)

阿児町東部地区小学校建設事業

2億3,046万3千円

児童の安全の確保と円滑な教育活動を実施するため、阿児町の東部地区に位置する小学校を再編し、新たな場所(高台)に統合小学校を建設します。



(継続)

遺跡発掘調査等事業

309万7千円

崩落の可能性があり緊急を要する塚穴古墳の発掘調査、測量調査を行い、記録保存を図るとともに、遺跡の詳細分布調査を実施します。



まちづくりの志～未来を拓く～

住民自治活動の充実、強化を促進し、市民が主役となり、自分たちのことは自分たちで決定し、実行できる地域コミュニティをめざします。あわせて、質の高い効果的な行政サービスを提供することにより、市民と情報を共有しながら、自立できるまちをめざします。

(新規)

官学連携研究助成事業

91万9千円

三重大学および学校法人立命館との連携協力協定に基づき、志摩市が抱える課題を解決し、市の活性化を図るために、大学などが実施する効果的な相互連携および調査研究に要する費用の一部を助成します。



(継続)

総合計画策定事業

566万5千円

第2次志摩市総合計画基本構想および前期基本計画を策定します。平成26年度・27年度の2か年で実施します。



(継続)

家屋現況図整備事業

801万2千円

都市計画基本図および航空写真をもとに家屋図を作成し、課税データとの照合により未評価家屋などの調査を行います。



(継続)

統計調査事業費

1,071万1千円

港湾統計調査、学校基本調査、経済センサス調査区設定、工業統計調査、農林業センサス、国勢調査調査区設定、経済センサス基礎調査及び商業統計調査、全国消費実態調査にかかる経費です。



(継続)

県議会議員選挙経費

256万1千円

平成27年4月29日任期満了による三重県議会議員選挙にかかる執行経費です。



(継続)

知事選挙経費

696万円

平成27年4月20日任期満了による三重県知事選挙にかかる執行経費です。



各部の紹介

(平成26年4月1日現在)

農林水産部



農林水産部長
まえだ しゅうさく
前田 周作

農林水産部は、農林水産業の振興を図ることにより観光産業との密接な連携を深め、重要な基盤産業としての確立を目指して取り組みを進めています。

豊かな自然に恵まれた志摩の環境から生み出される美味しく、安心・安全な水産物や農産物を安定して供給するために、資源管理型漁業や獣害対策などの施策を継続して推進するほか、新しい栽培品種についても検討していきます。

また、経済が低迷する中での流通対策として、関係部局との連携を図りながら新たな商品開発や里海ツーリズムの展開を通じて、伊勢志摩国立公園の豊かな自然環境を地域が一体となって保全し、その恵みにより育まれた地域資源を持続可能な形で有効に利用する仕組みを作ること志摩市ならではの「新しい里海のまちの産品」として、消費者の皆さんに「志摩ブランド」の素晴らしさをアピールすることにより、付加価値の向上に繋がるよう取り組みを進めていきます。

農 林 課	44・0288
水 産 課	44・0289

里 海 推 進 室	44・0206
-----------	---------

議会事務局



議会事務局長
みぞぐち かずのり
溝口 和則

市議会とは、市民の皆さんの代表である市議会議員により、市政の方向性を論議、決定している場所です。議会事務局では、こうした活動をお知らせするために、市議会だよりの発行、ケーブルテレビによる議会（一般質問）の録画放映、ホームページでの会議録公開など、さまざまな媒体を通じた情報提供に努めています。

地域主権改革が進むなか、市議会は市民の皆さんの視点に立ち、より一層の監視機能、調査機能、政策立案機能の強化が求められています。今後も、市議会が行政と市民の皆さんの「かけ橋」となるよう、努力してまいります。

議 事 課	44・0250
-------	---------

建設部



建設部長
ひがしやま たみあき
東山 民昭

建設部は、道路や河川の整備を担当する建設整備課、建物の耐震や公園管理を進める都市計画課、市営住宅を管理する住宅営繕課で構成され市民生活に密着した社会基盤の整備を進めています。

本年度のおもな事業は、市道の整備・維持管理と、県と協働して国道167号鵜方磯部バイパスの整備、磯部バイパスの事業整備のほか、浜島地区の地籍調査の実施、昭和56年以前の木造住宅の耐震事業、大規模建築物耐震補強補助事業、住宅リフォーム促進事業、市営住宅の長寿命化事業など、災害に強い安心して暮らせるまちづくりを、市民の皆さんの理解、協力を得ながら進めていきます。

建 設 整 備 課	44・0304
-----------	---------

都 市 計 画 課	44・0305
住 宅 営 繕 課	44・0306

総務部



総務部長
にしお しげあき
西尾 重昭

総務部は、広報誌の発行など広報広聴活動、秘書業務を行っている市長公室、市役所の管理部門であり職員の人事管理、人材育成、労働安全衛生や円滑な選挙の実施を行っている総務課、市民の安心安全のために火災や災害対策推進、交通安全対策、防犯対策をおもに取り組んでいる地域防災室、予算編成や市有財産を管理する財政課、適正な契約や工事などを管理する検査契約課の5課と窓口業務など市民に身近な4支所で構成しています。

重点施策の一つの防災対策事業については、南海トラフ地震対策について国の支援が強化されることに対応し、市としても具体的に事業などに対応できるよう準備するとともに、避難路整備に重点を置き、引き続き取り組んでいきます。

第2次財政アクションプログラムにあわせ財政計画、定員適正化計画の策定や組織機構の見直しに取り組んでいきます。

市 長 公 室	44・0200
総 務 課	44・0201
地 域 防 災 室	44・0203
財 政 課	44・0204
検 査 契 約 課	44・0209
	44・0018

浜 島 支 所	53・1111
大 王 支 所	72・0255
志 摩 支 所	85・1111
磯 部 支 所	55・0026

生活環境部



生活環境部長
おか しげる
岡 茂

生活環境部においては、人権啓発の企画、推進をはじめ、非核・平和の実現に取り組んでいます。また、身近な環境においての大気や水環境の汚染、騒音、悪臭などの発生抑止対策や合併処理浄化槽の普及促進により、英虞湾、的矢湾をはじめ、広くは太平洋も含めた良好な海洋環境の維持に努めています。それ以外にも、皆さんの日常と密着した市営の火葬場の運営や家庭生活や事業活動によって発生する廃棄物の減量化に、市民の皆さんの理解、協力を得ながら進めてまいります。

人権啓発推進課	44・0227
迫 間 文 化 会 館	55・0254
環 境 課	44・0228
美 化 衛 生 課	44・0229

エコフレンドリー は ま じ ま	53・1410
阿 児 清 掃 セ ン タ ー	43・3714
斎 場 悠 久 苑	58・1950
浜 島 や す ら ぎ 苑	53・2110

企画部



企画部長
かきぐち とみや
川口 富弥

企画部は、企画政策課とまちづくり課の2課で構成されています。

企画政策課は、政策調整・行政改革が主な担当となっています。今年度は志摩市誕生10周年記念事業に取り組めます。また、昨年度から行政改革の一環として進めている第2次の財政健全化アクションプログラムを策定します。政策関係では今年度から2年かけて新たな総合計画の策定を行っていきます。また、学校法人立命館、三重大学との官学連携によるまちづくりも手掛けます。

まちづくり課では、総合的なまちづくりの推進、市民参画、情報化の推進・電算システムなどを担当します。今年度は空家バンク制度の推進や愛知県日進市との友好交流提携などを予定しています。

企 画 政 策 課	44・0205
ま ち づ く り 課	44・0208

会計管理者



会計管理者
にしお よしこ
西尾 佳子

出納室では、指定金融機関（4月から第三銀行に交代しました）と連携して、市民税や固定資産税などの市税をはじめ、使用料や手数料などを納めていただくため、窓口収納を行っています。また、市が購入した物品の代金、工事代金、委託料など、請求に基づく支払いに関する事務も行っています。

なお、お仕事などの都合により、平日の昼間に市役所や各支所・金融機関の窓口へ出向いて、税金などを納めることが難しい人は、どうぞ口座振替をご利用ください。

出 納 室	44・0215
-------	---------

商工観光部



商工観光部長
にしぎき みき
西崎 巳喜

商工観光部は、農林水産部と連携し里海事業に取り組んでいます。併せて商工会、観光協会など各種団体とも連携して、地場産業の発展や地域の活性化に取り組んでいます。商工のおもな事業としては、市の優れた資源を活用し志摩ブランドの認定を行う等、特産品の開発や物販関係の支援を行っています。

観光の主な事業としては、スポーツ観光の観点から、新たに伊勢志摩里海トライアスロン大会と伊勢志摩里海サイクリング大会を志摩スポーツコミッションや観光協会と連携して開催し、しっかりとおもてなしの心で観光交流を図っていきます。

誘客事業におきましては、昨年のご還宮を20年に一度の特需で終わらせるのではなく、本年平成26年度は、伊勢宮のご還宮が行われますが里海事業との連携を図る中で、積極的に情報発信を行い誘客に努めていきます。

商 工 課	44・0290
観 光 戦 略 室	44・0005

ともやま公園事務所	72・4636
浜島磯体験施設	53・1002
海 ほ お ず き	

病院事業部



病院事業部長
まつもと とうぞう
松本 藤三

病院事業部は、志摩市民病院・浜島診療所・前島診療所の3施設を統括する部署で、事務所は志摩市民病院3階に置いています。志摩市民病院では、外科医師3人、整形外科医師1人の常勤医師4人と代務医師3人による入院・外来診療・人工透析・リハビリを行うとともに看護師・准看護師による訪問看護ステーションの運営を行っています。

浜島診療所では常勤の泌尿器科医師と代務医師により診療を行い、前島診療所については、指定管理者制度により公益社団法人地域医療振興協会に運営を委託しています。

志摩市民病院	72・5555
訪問看護ステーション	72・5755

浜 島 診 療 所	53・0101
前 島 診 療 所	84・1001

上下水道部



上下水道部長
はまぐち たかし
濱口 卓

水道事業および下水道事業の2事業を運営しています。

水道事業では、人口減少、地域経済の不安定など取り巻く環境も大変厳しく、それらの変化に適切に対応しつつ、安全で良質な水道水を安定して供給するための施設整備をはじめ基幹管路、重要施設などへの耐震化に努め、将来の財政収支を見通した経営の安定化を図っていきます。また、下水道事業では、接続率向上のため公共下水道等促進補助金を活用した啓発の強化に努め、施設の効率的な事業運営と安定した経営に向け取り組んでいきます。

水 道 総 務 課	44・0220
水 道 工 務 課	55・0241

下 水 道 課	44・0225
---------	---------

【行政委員会】

教育委員会



教育部長
かわつら ひとし
川面 仁志

教育委員会は、人間性豊かで自立できる子どもの育成を目指し、幼稚園、小中学校の教育をはじめ、食育の実施などさまざまな教育内容の充実を図ります。そして、教育施設の整備など、安心して子どもたちが学べる環境づくりに努めます。

生涯学習、文化振興、生涯スポーツの振興にも努めてまいります。

教 育 総 務 課	44・0315
学 校 人 権 教 育 課	44・0336
生 涯 学 習 ス ポ ー ツ 課	44・0339
食 育 課	43・4735

浜 島 分 室	53・1511
大 王 分 室	72・2468
志 摩 分 室	85・2222
磯 部 分 室	55・0142
阿 児 ア リ ー ナ	43・7000
市 立 図 書 館	43・8000
歴 史 民 俗 資 料 館	55・2881

市民部



市民部長
おかやま えいこ
岡山 栄子

市民部は、市民課、課税課、収税課、保険課の4課で構成されており、市民の皆さんの「暮らしの窓口」として生活に密着するサービスを提供しています。転入・転出・出生・死亡などの際の諸手続きや戸籍・住民票・税証明など証明書発行に加え市民課ではパスポート業務や毎月曜日（祝祭日除く）には夜7時までの証明書発行の窓口開庁を行っています。また、国民年金や国民健康保険、後期高齢者医療の加入・脱退手続き、福祉医療費助成に関する手続き、市税の賦課・徴収や税金に関する相談などが主な業務となっています。市民の皆さんに「親切、丁寧な対応」を心がけ、窓口のワンストップサービスに努めてまいります。

市 民 課	44・0210
課 税 課	44・0211

収 税 課	44・0212
保 險 課	44・0213

健康福祉部



健康福祉部長
にしい くにお
西井 久仁夫

健康福祉部は、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、共に生き、共に支えあう社会を実現することを目指しています。

福祉とは、公的配慮によって社会のみんなが等しく受ける事ができる、安定した生活環境です。言い換えれば、みんなが幸せになることです。

老いも若きも生涯を通じて市民の皆さんが、助け合い、つながりあい、安心して暮らせるまちの実現に向けて取り組んでまいります。

介 護 保 険 課	44・0284
健 康 推 進 課 (総合保健センター)	44・1100

福 祉 事 務 所	
地 域 福 祉 課	44・0283
ふくし総合支援室	44・0280
子 育 て 支 援 課	44・0282

選挙管理委員会 (総務課内)

事 務 局	44・0201
-------	---------

公平委員会 (総務課内)

事 務 局	44・0201
-------	---------

固定資産評価審査委員会 (収税課内)

事 務 局	44・0212
-------	---------

農業委員会

事 務 局	44・0293
-------	---------

監査委員会

事 務 局	44・0216
-------	---------

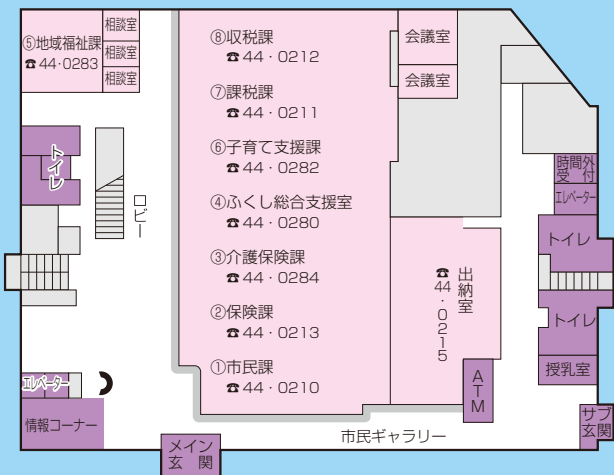
志摩市役所(平成26年4月1日現在)

開庁時間 8時30分～17時15分

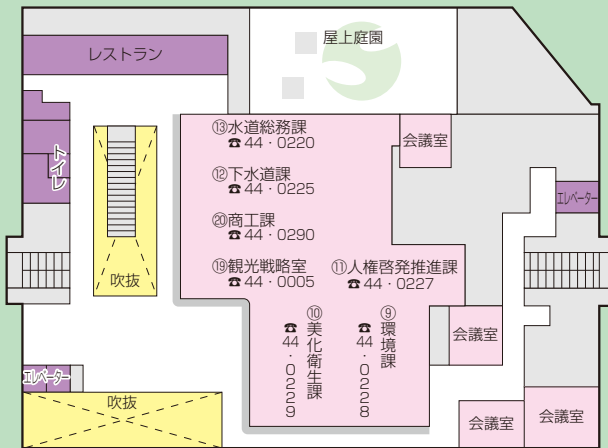
閉庁日 土曜日・日曜日・祝日・休日・12月29日～1月3日

庁舎案内図

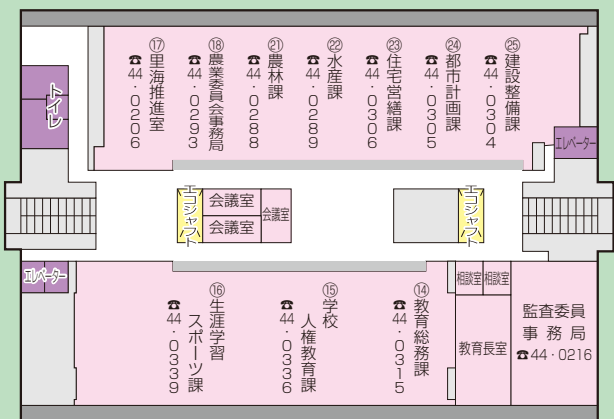
1 階



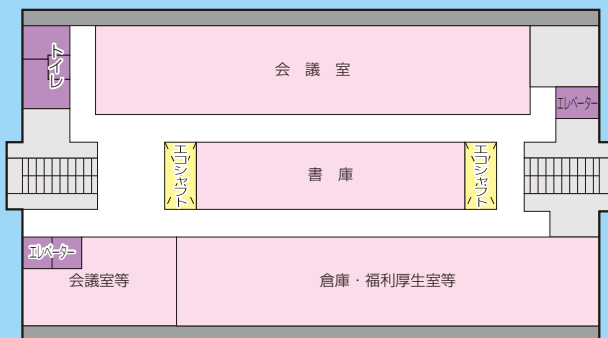
2階



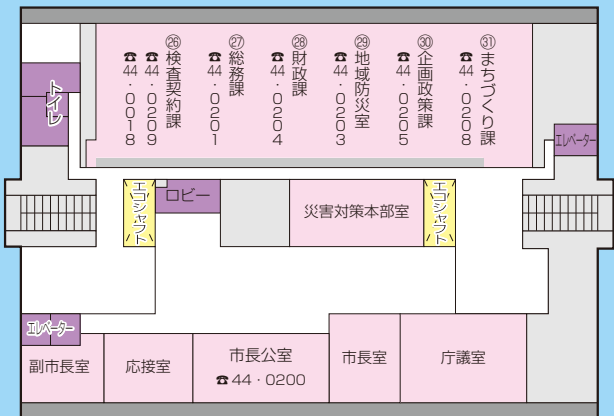
3 階



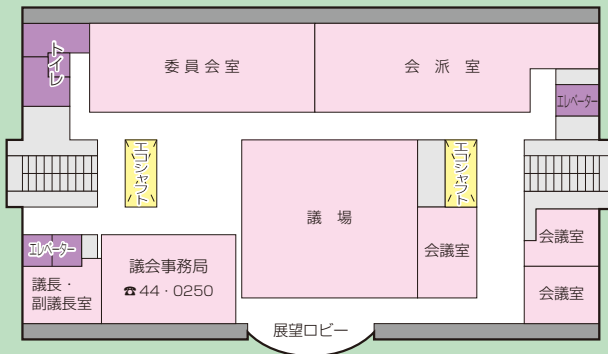
4階



5 階



6 階



○水道工務課は、磯部浄水場 住所 磯部町恵利原 223 ☎55・0241 ○食育課は、志摩市学校給食センター 住所 阿児町神明 1537-1 ☎43・4735

編集・発行／志摩市 市長公室 〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方3098-22

広報しまへのご感想・ご意見  (0599) 44-0200  (0599) 44-5252

[をお寄せください。](#)

[くわしくはWEBで](#)
[志摩市役所](#)
[検索](#)

 shichokoshitsu@city.shima.lg.jp



この広報は、環境に配慮するため、植物油性のインキとグリーン購入法の基準を満たす再生紙を使用しています。

➡市の携帯電話用ホームページはこちら

